

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2005年3月23日から2025年1月7日までです。
運用方針	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 運用にあたっては、日経500種平均株価採用銘柄を予想配当利回りの高い順にランキングし、上位の70銘柄程度を投資対象とします。 投資にあたっては、各銘柄への資産配分が、概ね等金額投資となることを目標に運用を行います。 組入銘柄の見直しと各銘柄の組入比率の調整（リバランス）は、原則として、1ヵ月毎に行います。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	年4回、1月、4月、7月、10月の各月の7日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が分配可能額を勧案のうえ決定します。なお、1月の決算時の分配金額は、基準価額が当初元本を上回っている場合は、委託会社が基準価額水準を勧案のうえ決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

## 運用報告書（全体版）

# 日本好配当 リバランスオープン

第54期（決算日 2018年10月9日）

第55期（決算日 2019年1月7日）

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「日本好配当リバランスオープン」は、2019年1月7日に第55期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第54期～第55期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

## ○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			日経500種平均株価		東証株価指数 (TOPIX)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税金込み分配	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
46期(2016年10月7日)	円 9,502	円 40	% 19.3	円 1,603.12	% 7.8	ポイント 1,350.61	% 10.2	% 94.8	% -	百万円 3,527
47期(2017年1月10日)	10,081	1,300	19.8	1,770.59	10.4	1,542.31	14.2	91.2	-	3,194
48期(2017年4月7日)	9,790	40	△ 2.5	1,749.09	△ 1.2	1,489.77	△ 3.4	95.2	-	3,572
49期(2017年7月7日)	10,448	40	7.1	1,892.25	8.2	1,607.06	7.9	95.8	-	3,866
50期(2017年10月10日)	10,860	40	4.3	2,037.22	7.7	1,695.14	5.5	96.2	-	4,022
51期(2018年1月9日)	10,063	1,800	9.2	2,291.54	12.5	1,889.29	11.5	94.7	-	3,627
52期(2018年4月9日)	9,377	40	△ 6.4	2,168.88	△ 5.4	1,725.88	△ 8.6	95.4	-	4,370
53期(2018年7月9日)	9,228	40	△ 1.2	2,134.77	△ 1.6	1,711.79	△ 0.8	96.2	-	4,512
54期(2018年10月9日)	9,622	40	4.7	2,154.40	0.9	1,761.12	2.9	94.7	-	5,065
55期(2019年1月7日)	8,325	40	△13.1	1,866.38	△13.4	1,512.53	△14.1	95.1	-	5,927

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 日経500種平均株価および東証株価指数(TOPIX)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

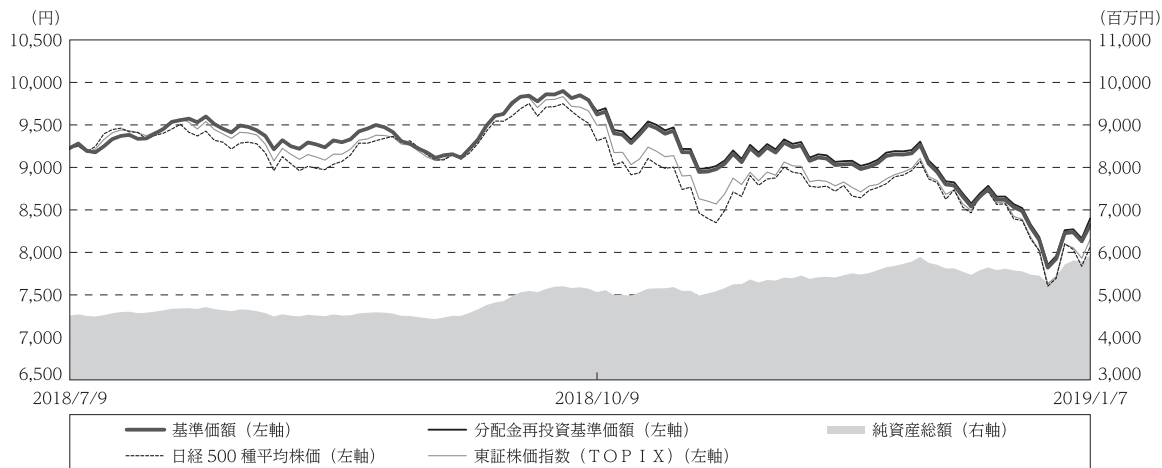
決算期	年月日	基準価額		日経500種平均株価		東証株価指数 (TOPIX)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第54期	(期首)	円	%	円	%	ポイント	%	%	%
	2018年7月9日	9,228	-	2,134.77	-	1,711.79	-	96.2	-
	7月末	9,531	3.3	2,167.57	1.5	1,753.29	2.4	96.2	-
	8月末	9,415	2.0	2,166.39	1.5	1,735.35	1.4	96.1	-
	9月末	9,860	6.8	2,246.24	5.2	1,817.25	6.2	92.7	-
(期末)	2018年10月9日	9,662	4.7	2,154.40	0.9	1,761.12	2.9	94.7	-
第55期	(期首)	円	%	円	%	ポイント	%	%	%
	2018年10月9日	9,622	-	2,154.40	-	1,761.12	-	94.7	-
	10月末	9,161	△ 4.8	2,015.28	△ 6.5	1,646.12	△ 6.5	90.0	-
	11月末	9,165	△ 4.7	2,073.41	△ 3.8	1,667.45	△ 5.3	91.2	-
	12月末	8,237	△14.4	1,858.58	△13.7	1,494.09	△15.2	89.9	-
(期末)	2019年1月7日	8,365	△13.1	1,866.38	△13.4	1,512.53	△14.1	95.1	-

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2018年7月10日～2019年1月7日)



第54期首：9,228円

第55期末：8,325円 (既払分配金(税引前):80円)

騰落率：△ 9.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、日経500種平均株価および東証株価指数(TOPIX)です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首(2018年7月9日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・業種では、ガラス・土石製品や精密機器、小売業、電気・ガス業などが主なプラス要因となりました。
- ・個別銘柄では、セイコーホールディングスや沖電気工業、日本電気硝子、熊谷組などが主なプラス要因となりました。

## (主なマイナス要因)

- ・業種では、金属製品や建設業、輸送用機器、銀行業などが主なマイナス要因となりました。
- ・個別銘柄では、LIXILグループや東海東京フィナンシャル・ホールディングス、東京エレクトロン、レオパレス21などがマイナス要因となりました。

## 投資環境

(2018年7月10日～2019年1月7日)

国内株式市場は、堅調な世界景気が上昇要因となる一方、米国の通商政策への懸念などが上値を抑制し、2018年9月上旬にかけて一進一退の動きが続きました。9月末には、円安ドル高が進行し上値を試す動きも見られましたが、10月末にかけては米金利上昇による景気や株式市場への悪影響などが警戒され世界的に株価が下落し、国内株式市場も下落しました。その後しばらくは小幅なレンジで推移しましたが、12月に入ると米中貿易摩擦の激化懸念や米国の主要ハイテク企業の株価が調整したことなどから、国内株式市場も大きく下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2018年7月10日～2019年1月7日)

## 【株式組入比率】

相場の変動や分配金の確保のため、一時的に組入比率が上下する場面がありましたが、高位組入れを基本としました。株式組入比率は概ね90%～96%の間で推移させ、作成期末では95.1%となっております。

## 【当作成期間の運用状況】

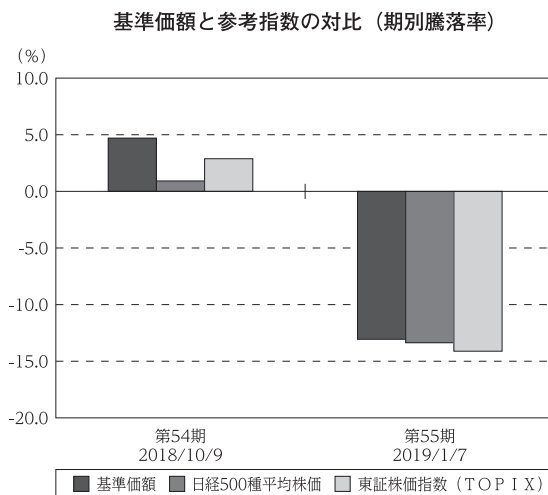
運用の基本方針に則り、毎月末のデータをもとに日経500種平均株価採用銘柄の中から予想配当利回り上位70銘柄を選定し、翌月に各銘柄への資産配分が概ね等金額になることを目標に組入銘柄の入替えと組入比率の調整を実施しました。また、追加設定・解約申込みなどの投資資金の増減に応じて組入銘柄の調整売買を行いました。

作成期末の組入銘柄数は、70銘柄となっております。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年7月10日～2019年1月7日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としている日経500種平均株価や東証株価指数(TOPIX)の騰落率に対して上回りました。詳細につきましては前掲の「基準価額の主な変動要因」をご参照ください。



(注) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 参考指数は、日経500種平均株価、東証株価指数(TOPIX)です。

## 分配金

(2018年7月10日～2019年1月7日)

年4回、1月、4月、7月、10月の各月の7日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配対象収益の範囲内で、委託会社が分配可能額を勘案のうえ決定します。なお、1月の決算時の分配金額は、基準価額が当初元本を上回っている場合は、委託会社が基準価額水準を勘案のうえ決定します。

この基本方針に則り、当作成期中は第54期、第55期決算において、それぞれ1万口当たり40円（税引前）、合計80円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第54期	第55期
	2018年7月10日～ 2018年10月9日	2018年10月10日～ 2019年1月7日
当期分配金	40	40
(対基準価額比率)	0.414%	0.478%
当期の収益	40	4
当期の収益以外	—	35
翌期繰越分配対象額	3,565	3,530

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

当ファンドの運用方針に則り、日経500種平均株価採用銘柄で予想配当利回りの上位70銘柄程度を投資対象とし、各銘柄への資産配分が概ね等金額投資となるよう運用を行います。組入銘柄の見直しと各銘柄の組入比率の調整（リバランス）は、原則として1ヵ月毎に行い、株式組入比率は、高位を保つことを基本として運用してまいります。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年7月10日～2019年1月7日)

項 目	第54期～第55期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(17)	(0.188)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(20)	(0.215)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 4 )	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	17	0.182	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数
( 株 式 )	(17)	(0.182)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	0	0.005	(c) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	58	0.634	
作成期間中の平均基準価額は、9,228円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年7月10日～2019年1月7日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

## 株式

		第54期～第55期			
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		3,471	4,962,274	2,269	3,079,628

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2018年7月10日～2019年1月7日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第54期～第55期
(a) 当作成期中の株式売買金額	8,041,903千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	4,809,129千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.67

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年7月10日～2019年1月7日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	第54期～第55期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
株式	百万円 4,962	百万円 1,723	% 34.7	百万円 3,079	百万円 402	% 13.1

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第54期～第55期
売買委託手数料総額 (A)	9,548千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2,519千円
(B) / (A)	26.4%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年1月7日現在)

## 国内株式

銘柄	第53期末		第55期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株	千株	千円
<b>建設業 (7.1%)</b>				
安藤・間	—	108.9	80,912	
長谷工コーポレーション	40.8	68.5	80,213	
西松建設	19.6	31.7	80,454	
大東建託	3.5	5.3	79,871	
積水ハウス	31.9	48.3	79,864	
<b>食料品 (1.4%)</b>				
日本たばこ産業	20.2	30.2	79,803	
<b>繊維製品 (2.9%)</b>				
帝人	30.7	45	81,810	
オンワードホールディングス	—	128.9	79,402	
<b>化学 (8.5%)</b>				
住友化学	99	145.7	79,552	
東ソー	36.4	55.7	79,818	
デンカ	16.9	25.4	82,296	
三菱瓦斯化学	—	47.9	80,328	
三井化学	21.2	31.8	79,659	
J S R	33.1	—	—	
三菱ケミカルホールディングス	67.3	94.2	79,551	
D I C	17.5	—	—	
<b>医薬品 (1.5%)</b>				
武田薬品工業	13.4	21.3	85,093	
<b>石油・石炭製品 (1.4%)</b>				
昭和シェル石油	37.8	50.4	79,934	
<b>ゴム製品 (2.9%)</b>				
ブリヂストン	14.4	18.9	80,230	
住友ゴム工業	35.5	60.8	81,107	
<b>ガラス・土石製品 (—%)</b>				
日本電気硝子	20.3	—	—	
<b>鉄鋼 (2.9%)</b>				
新日鐵住金	28.7	41.8	80,318	
ジェイ エフ イー ホールディングス	29.8	45	80,820	
<b>非鉄金属 (2.8%)</b>				
日本軽金属ホールディングス	250.8	—	—	

銘柄	第53期末		第55期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株	千株	千円
三井金属鉱業	—	34.9	80,165	
古河機械金属	—	61.8	79,845	
<b>金属製品 (2.9%)</b>				
SUMCO	—	65.6	80,425	
L I X I Lグループ	28.2	58.1	80,759	
<b>機械 (8.6%)</b>				
アマダホールディングス	58.6	80	79,600	
DMG森精機	40.6	63.7	80,070	
小松製作所	—	33.4	81,679	
SANKYO	14.4	—	—	
日本精工	54.6	83.3	79,634	
NTN	137.6	248.6	82,038	
THK	—	38.3	80,851	
三菱重工業	15.5	—	—	
<b>電気機器 (7.1%)</b>				
沖電気工業	50	60.9	81,971	
セイコーエプソン	32.4	51.1	79,869	
ファナック	—	4.8	79,824	
キヤノン	16.7	26.5	80,030	
東京エレクトロン	3.3	6.4	80,896	
<b>輸送用機器 (8.6%)</b>				
日産自動車	57.5	89.8	80,200	
トビー工業	—	35.1	80,168	
アイシン精機	—	20.7	81,040	
本田技研工業	19.2	27.3	81,599	
SUBARU	19.4	34.3	79,816	
ヤマハ発動機	22.4	36.6	79,458	
<b>精密機器 (—%)</b>				
セイコーホールディングス	26.2	—	—	
<b>電気・ガス業 (—%)</b>				
中国電力	43.6	—	—	
<b>情報・通信業 (5.7%)</b>				
スカパーJ S A Tホールディングス	118.3	168.6	83,288	
日本電信電話	12.4	17.7	79,561	



日本好配当リバランスオープン

銘柄	第53期末		第55期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株	千株	千円
KDDI	20.6	30.1	79,554	
NTTドコモ	21.8	32	79,488	
<b>卸売業 (8.5%)</b>				
双日	155.4	200.2	80,080	
伊藤忠商事	31.1	42.4	80,602	
丸紅	73.3	102.4	80,947	
兼松	39	—	—	
三井物産	33.8	46.2	79,949	
住友商事	34.3	50.6	80,150	
三菱商事	20.3	25.8	80,289	
<b>小売業 (—%)</b>				
ローソン	9	—	—	
ヤマダ電機	113.4	—	—	
<b>銀行業 (12.9%)</b>				
ゆうちょ銀行	48.4	65.3	80,253	
コンコルディア・フィナンシャルグループ	—	187.4	80,019	
あおぞら銀行	14.8	24.1	79,891	
三菱UFJフィナンシャル・グループ	99	147	80,864	
りそなホールディングス	105.4	149.6	80,948	
三井住友フィナンシャルグループ	14.5	21.7	81,613	
ふくおかフィナンシャルグループ	—	35.3	80,131	
みずほフィナンシャルグループ	334.9	464.3	79,813	
池田泉州ホールディングス	167	263.6	82,770	

銘柄	第53期末		第55期末	
	株数	株数	株数	評価額
	千株	千株	千株	千円
<b>証券・商品先物取引業 (5.7%)</b>				
SBIホールディングス	—	36.6	79,751	
大和証券グループ本社	97.1	142.1	81,878	
野村ホールディングス	116.1	—	—	
東海東京フィナンシャル・ホールディングス	88.2	166.2	79,942	
松井証券	59	68.5	80,350	
カブドットコム証券	174	—	—	
<b>保険業 (2.9%)</b>				
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	17.9	25.2	79,808	
東京海上ホールディングス	12	15.1	81,177	
<b>その他金融業 (2.9%)</b>				
日立キャピタル	21.8	34.2	81,464	
オリックス	35.7	49.2	80,761	
<b>不動産業 (—%)</b>				
レオパレス21	102.9	—	—	
<b>サービス業 (2.8%)</b>				
みらかホールディングス	18.9	32.1	80,506	
日本郵政	51.5	62.5	80,375	
合 計	株数・金額	3,770	4,972	5,637,219
	銘柄数<比率>	70	70	<95.1%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年1月7日現在)

項 目	第55期末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 5,637,219	% 83.0
コール・ローン等、その他	1,155,615	17.0
投資信託財産総額	6,792,834	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第54期末	第55期末
	2018年10月9日現在	2019年1月7日現在
	円	円
(A) 資産	5,121,337,152	6,792,834,725
コール・ローン等	262,217,417	645,172,285
株式(評価額)	4,794,919,410	5,637,219,680
未収入金	—	494,363,838
未収配当金	64,200,325	16,078,900
未収利息	—	22
(B) 負債	55,817,574	864,846,159
未払金	—	816,269,479
未払収益分配金	21,057,358	28,484,447
未払解約金	24,058,332	7,922,416
未払信託報酬	10,572,702	12,023,271
未払利息	272	—
その他未払費用	128,910	146,546
(C) 純資産総額(A-B)	5,065,519,578	5,927,988,566
元本	5,264,339,697	7,121,111,803
次期繰越損益金	△ 198,820,119	△1,193,123,237
(D) 受益権総口数	5,264,339,697口	7,121,111,803口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,622円	8,325円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第54期198,820,119円、第55期1,193,123,237円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第54期0.9622円、第55期0.8325円です。

(注) 当ファンドの第54期首元本額は4,889,942,544円、第54～55期中追加設定元本額は2,761,654,668円、第54～55期中一部解約元本額は530,485,409円です。

## ○損益の状況

項 目	第54期	第55期
	2018年7月10日～ 2018年10月9日	2018年10月10日～ 2019年1月7日
	円	円
(A) 配当等収益	64,444,808	15,265,624
受取配当金	64,478,114	15,337,070
受取利息	420	450
その他収益金	1,675	-
支払利息	△ 35,401	△ 71,896
(B) 有価証券売買損益	154,338,312	△ 737,474,571
売買益	280,233,213	88,397,123
売買損	△ 125,894,901	△ 825,871,694
(C) 信託報酬等	△ 10,702,437	△ 12,172,034
(D) 当期損益金(A+B+C)	208,080,683	△ 734,380,981
(E) 前期繰越損益金	△ 89,161,848	95,284,045
(F) 追加信託差損益金	△ 296,681,596	△ 525,541,854
(配当等相当額)	( 1,578,654,640)	( 2,250,197,501)
(売買損益相当額)	(△1,875,336,236)	(△2,775,739,355)
(G) 計(D+E+F)	△ 177,762,761	△1,164,638,790
(H) 収益分配金	△ 21,057,358	△ 28,484,447
次期繰越損益金(G+H)	△ 198,820,119	△1,193,123,237
追加信託差損益金	△ 296,681,596	△ 525,541,854
(配当等相当額)	( 1,578,654,640)	( 2,250,197,501)
(売買損益相当額)	(△1,875,336,236)	(△2,775,739,355)
分配準備積立金	298,095,135	263,871,765
繰越損益金	△ 200,233,658	△ 931,453,148

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第54期	第55期
(a) 配当等収益(費用控除後)	61,291,870円	3,093,590円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	1,578,654,640円	2,250,197,501円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	257,860,623円	289,262,622円
分配対象収益(a+b+c+d)	1,897,807,133円	2,542,553,713円
分配対象収益(1万円当たり)	3,605円	3,570円
分配金額	21,057,358円	28,484,447円
分配金額(1万円当たり)	40円	40円

## 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

## 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

	第54期	第55期
1万口当たり分配金（税引前）	40円	40円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。	
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店	

## 〈お知らせ〉

該当事項はございません。

## 〈当ファンドの参考指数の著作権等について〉

「日経500種平均株価」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、「日経500種平均株価」自体及び「日経500種平均株価」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。

「日経」及び「日経500種平均株価」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、全て株式会社日本経済新聞社に帰属しています。

本件投資信託は、投資信託委託業者等の責任のもとで運用されるものであり、株式会社日本経済新聞社は、その運用及び本件受益権の取引に関して、一切の責任を負いません。

株式会社日本経済新聞社は、「日経500種平均株価」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。

株式会社日本経済新聞社は、「日経500種平均株価」の構成銘柄、計算方法、その他「日経500種平均株価」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。